

# みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース

追加型投信／国内／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）円コース」は、2019年5月21日に第12期の決算を行いました。

当ファンドは、円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的にわが国の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年11月22日～2019年5月21日

第12期	決算日：2019年5月21日	
第12期末 (2019年5月21日)	基準価額	9,515円
	純資産総額	643百万円
第12期	騰落率	△2.8%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

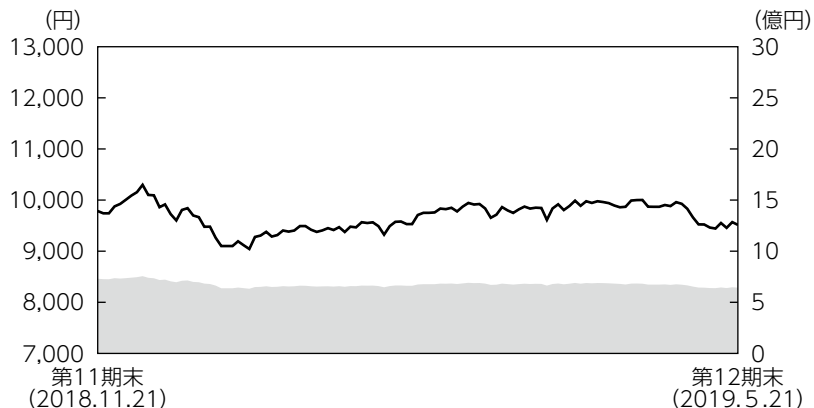
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第12期首： 9,785円  
 第12期末： 9,515円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：  $\Delta 2.8\%$   
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国株式市場の急落や、米中の対立激化を背景とした世界経済の先行き不透明感などを背景に国内株式市場が下落したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンド—ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラス	$\Delta 2.2\%$
D I A Mマネーマザーファンド	$\Delta 0.0\%$

- (注) D I A Mケイマン・ファンド—ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	(2018年11月22日 ～2019年5月21日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	66円	0.680%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,682円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(28)	(0.289)	
(販売会社)	(36)	(0.375)	
(受託銀行)	( 2)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	66	0.681	

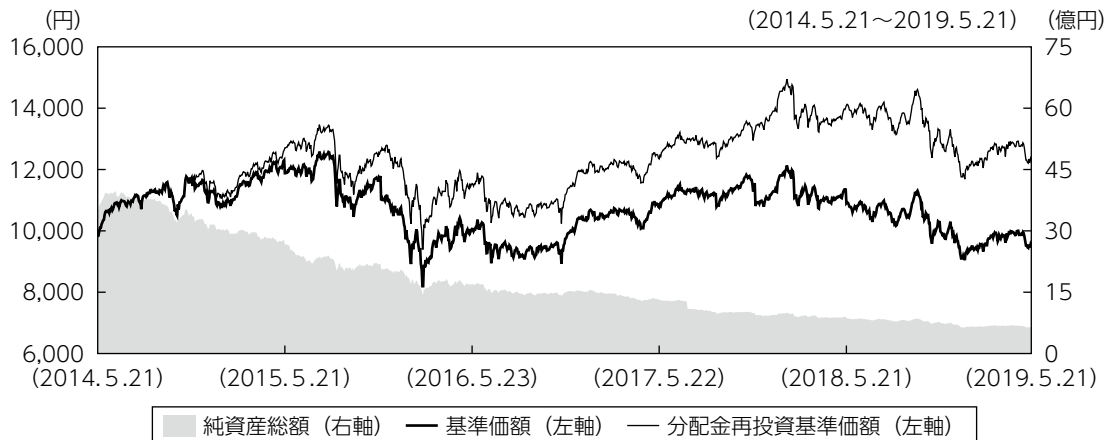
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年5月21日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年5月21日 期首	2015年5月21日 決算日	2016年5月23日 決算日	2017年5月22日 決算日	2018年5月21日 決算日	2019年5月21日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 9,811	11,878	10,059	10,759	10,904	9,515
期間分配金合計 (税引前)	(円) —	800	800	0	1,330	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) —	29.5	△9.2	7.0	14.1	△12.7
参考指数の騰落率	(%) —	45.9	△17.0	19.6	18.1	△12.5
純資産総額	(百万円) 3,504	2,665	1,696	1,318	862	643

(注) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。

## 投資環境

国内株式市場は下落しました。前期末から2018年12月にかけては、米中貿易戦争による世界経済の先行き不透明感などを背景に世界的に株式市場が調整する展開となり、国内株式市場も大幅に下落しました。2019年1月から4月にかけては、米国が金融引き締め政策を見直したことを受けて回復に転じ、緩やかに上昇する展開となりました。しかしながら、5月に入ると米中の対立が激化し、再び軟調な推移となりました。

日米欧の中央銀行は米中の貿易問題などの影響を見極めるため金融政策を据え置いています。そのため、国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは $\Delta 0.3\%$ 台 $\sim\Delta 0.1\%$ 台で推移するなど、レンジ内での推移となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラスの組入比率は、原則として高位を維持し、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラス

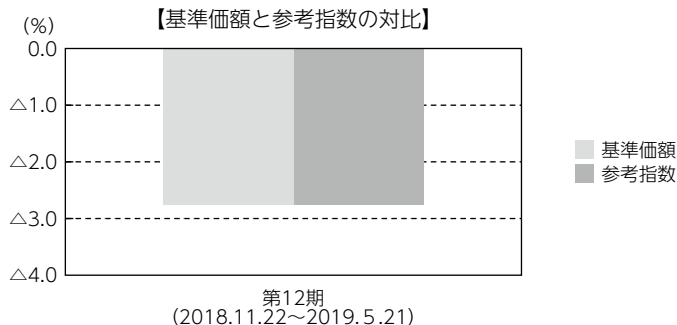
市場動向の変化に応じて機動的な運用を行いました。組入銘柄については、2018年末にかけての調整局面ではディフェンシブ銘柄中心の構成としましたが、その後2019年4月にかけては世界経済の回復期待が高まったと判断し景気敏感銘柄のウェイトを引き上げました。株式組入比率については、株式市場の下落リスクが高まったと判断した局面では引き下げるなど柔軟なコントロールを実施しました。

### ●D I AMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

## 参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年11月22日 ～2019年5月21日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	978円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I A Mケイマン・ファンドージャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●D I A Mケイマン・ファンドージャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラス

当面の株式市場は、米中対立が波乱要因となり神経質な展開を予想します。中期的な基本シナリオとしては、世界経済の回復が軌道に乗り、企業の自社株買いや日銀のE T F（上場投資信託）買い入れのサポートもあり堅調な展開を想定していますが、米中交渉の動向次第では世界経済を大きく下押ししてしまうリスクも想定すべきと考えます。

運用方針としては、海外要因や市場動向を見極めつつ株式組入比率、組入銘柄ともに機動的に調整する方針で臨みます。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

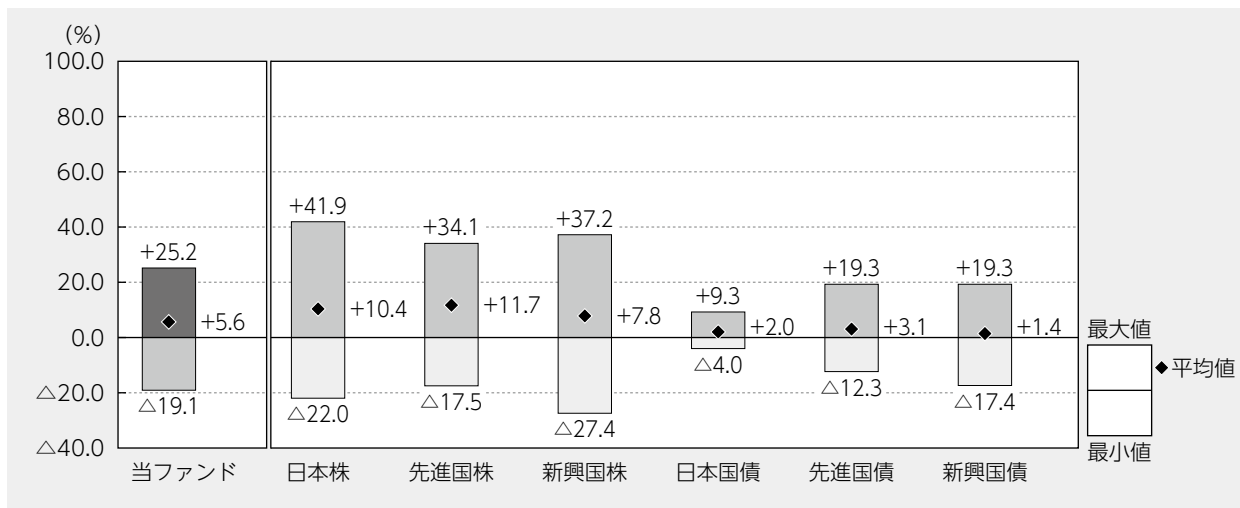
日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後もマイナス金利が継続すると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを組入れた運用を行っていきます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2013年7月31日から2023年7月14日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	円建て外国投資信託である「D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託である「D I AMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融資産等に直接投資する場合があります。
運用方法	円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的にわが国の株式に投資します。外国投資信託の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
分配方針	決算日（原則として毎年5月21日および11月21日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2014年7月~2019年4月

代表的な資産クラス : 2014年5月~2019年4月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年5月21日現在）

#### ◆組入ファンド等

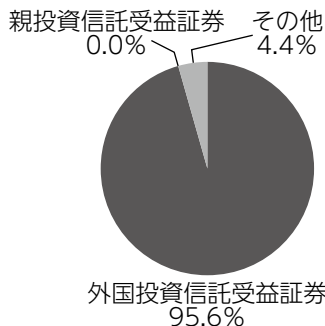
（組入ファンド数：2ファンド）

	当期末
	2019年5月21日
D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ ファンド・カレンシー・セレクション 円クラス	95.6%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0
その他	4.4

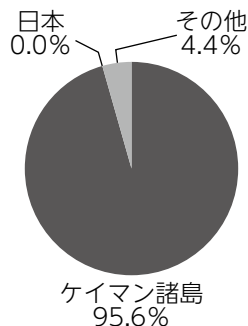
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

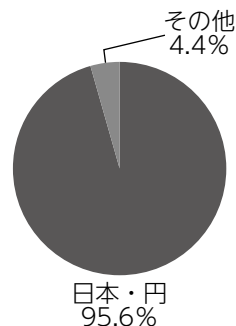
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

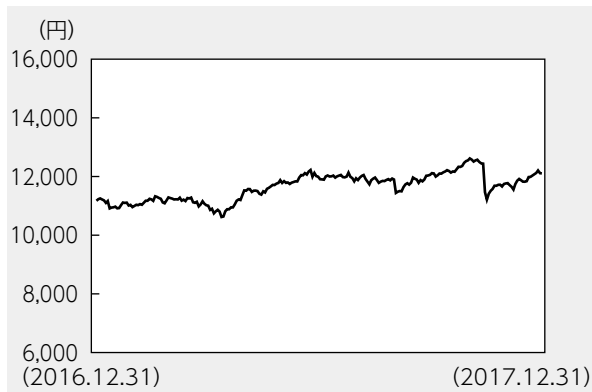
項目	当期末
	2019年5月21日
純資産総額	643,074,075円
受益権総口数	675,882,675口
1万口当たり基準価額	9,515円

（注）当期中における追加設定元本額は1,452,308円、同解約元本額は71,485,861円です。

## 組入ファンドの概要

[D I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラス] (計算期間 2017年1月1日~2017年12月31日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
GMO PAYMENT GATEWAY INC	日本・円	3.2%
DON QUIJOTE HOLDINGS CO LTD	日本・円	2.7
ROUND ONE CORP	日本・円	2.7
MITSUBISHI UFJ FINANCIAL GRO	日本・円	2.5
PEPTIDREAM INC	日本・円	2.5
TDK CORP	日本・円	2.1
DAIICHI SANKYO CO LTD	日本・円	1.9
ASAHI INTECC CO LTD	日本・円	1.9
SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	日本・円	1.8
HOSIDEN CORP	日本・円	1.7
組入銘柄数	97銘柄	

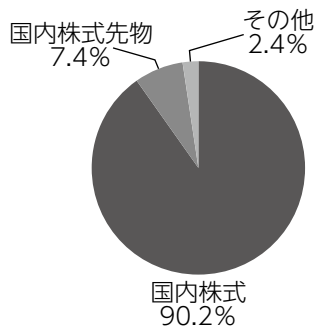
### ◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

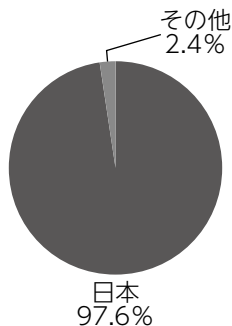
### ◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
TOPIX	買建	7.4%
組入銘柄数	1銘柄	

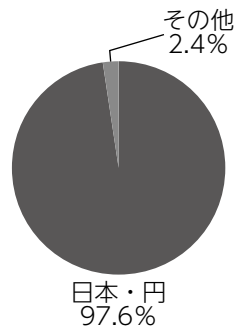
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



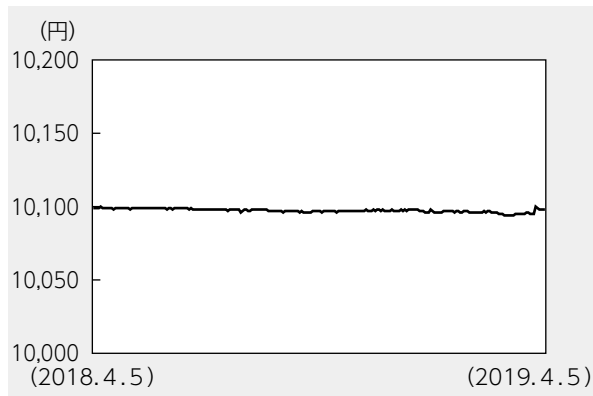
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はD I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 円クラスの計算期間(決算日が休日の場合は前営業日まで)のものであります。また、分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、D I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクションの決算日(決算日が休日の場合は前営業日)現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はD I AMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクションの純資産総額に対する割合です。
- (注4) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注5) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
- (注6) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるState Street Cayman Trust Company,Limitedのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【D I AMマネーマザーファンド】（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 3回 利付国庫債券（5年）	日本・円	74.4%
3 9 1回 利付国庫債券（2年）	日本・円	1.2
3 0 1回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.2
3 9 2回 利付国庫債券（2年）	日本・円	0.6
3 8 8回 利付国庫債券（2年）	日本・円	0.6
2 1年度3 5回 兵庫県公募公債	日本・円	0.3
1 1 2回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.2
2 6年度4回 静岡県公募公債	日本・円	0.1
2 7年度2回 千葉県公募公債	日本・円	0.1
2 7年度 京都府京都市みらい債	日本・円	0.1
組入銘柄数	22銘柄	

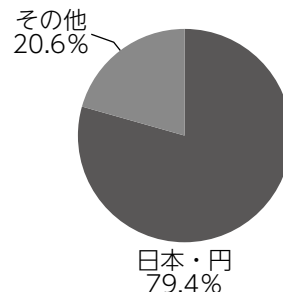
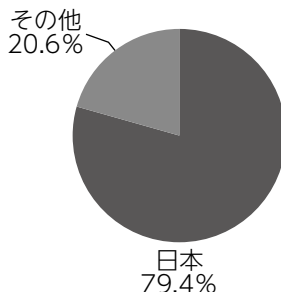
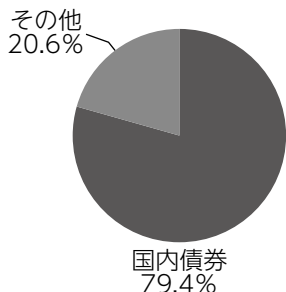
◆1万円当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

◆資産別配分

◆国別配分

◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万円当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,097円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万円当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <当ファンドの参考指数について>

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

